

# 株式会社アーレスティ

## 2011年3月期第1四半期

### 決算説明資料

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

## I. 2011年3月期第1四半期 決算概況

## 2011年3月期(第1四半期)決算のポイント

(単位: 百万円)

	2010年3月期 第1四半期	2010年3月期 第4四半期	2011年3月期 第1四半期	第2四半期 計画	通期 計画
売上高	14,698 100%	22,951 100%	23,698 100%	46,000	90,500
売上総利益	943 6%	3,167 14%	3,175 13%		
営業利益	△1,021 -	942 4%	962 4%	1,900	3,200
経常利益	△1,039 -	1,066 5%	994 4%	1,900	3,050
当期純利益	△967 -	715 3%	733 3%	1,550	2,500
EPS	-	33.21	33.96	71.96	116.1

- ◆ 売上高は237億円と、直近四半期より微増(+3.2%)、底となった前年同期より大幅に回復  
増収要因: 主業のダイカスト事業は、国内、海外ともに販売量は堅調に推移  
地域別では、地金価格の影響もあり、国内が(直近四半期比)+2.8億円、海外は特に中国の増収(同)+3.5億円が貢献
- ◆ 営業利益は9.6億円(前年同期は-10.2億円)と大幅改善も、直近四半期比では微増にとどまる  
増益要因: 国内ダイカスト事業で、労務費の増加、製品ミックスの変化による収益の悪化あり  
地域別では中国(+1.0億円)が増益に寄与
- ◆ 経常利益は、9.9億円(前年同期は-10.4億円) 営業外収益に為替差益59百万円を計上(昨4Qは177百万円)
- ◆ 四半期純利益は7.3億円(前年同期は-9.7億円) 3四半期連続プラスに
- ◆ 下期以降に不透明感があることから、通期の業績予想に変更なし



3

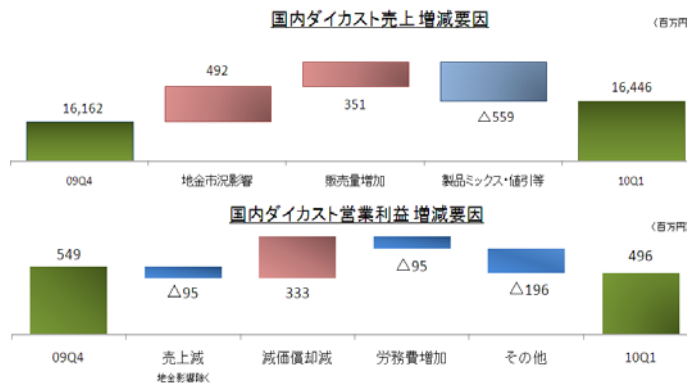
## 最近の主な動き

- ◆ 海外生産拠点の強化
  - ・ メキシコの増強  
→非日系企業からの新規受注、量産体制確保が背景、日系からの受注も堅調
  - ・ 華中地域への工場展開を発表  
→フル稼働を続ける華南工場の一部生産を移管し、加えて華中地域の自動車需要を新たに捕捉
- ◆ 国内生産体制再編の発表
  - ・ 浜松工場と豊橋工場を統合し東海工場(仮称)として集約・再編  
→国内需要の減退予想に伴い、国内生産効率の向上を企図



4

## 国内ダイカストの状況



【用語説明】

地金市況影響とは、ダイカスト事業における原材料(アルミニウム二次合金地金)価格の市況変動の影響による売上高の増減額。ダイカスト事業における原材料価格はLME※等の市況の影響を受け変動するが、顧客との間で製品価格に転嫁できる契約形態となっており、多くは3ヶ月ごとに市況変動に合わせて原材料価格を改定する契約となっている。よって売上高は原材料市況の影響を受けるが、短期的には影響を及ぼす可能性があるものの長期的には利益への影響はほとんどない。  
※ロンドン金属取引所

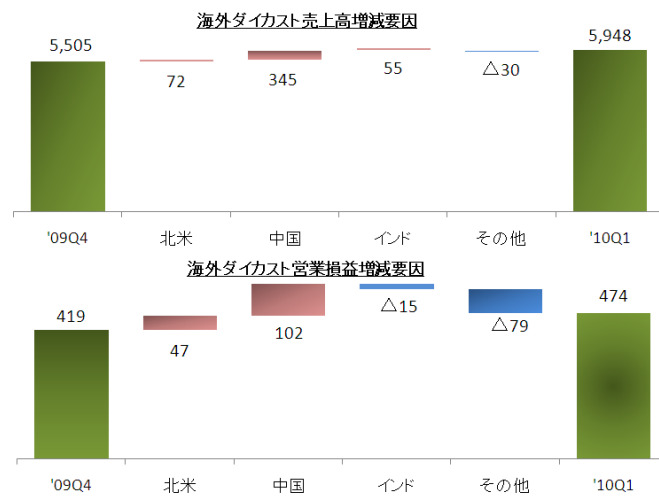


◆ 国内ダイカスト事業は販売重量は増加するも、製品ミックスの変化、値引き等の影響を受け、売上は微増(+1.8%)にとどまる

◆ 過去数四半期にわたる設備投資の抑制により当第1四半期の減価償却費は減少したが、生産量増加に伴う労務費など諸経費の増加、製品ミックスの変化による収益性の悪化などにより、対前期第4四半期比では減益に

5

## 海外ダイカストの状況



◆ 北米：アメリカ、メキシコともに販売量は微増、売上は堅調に推移

◆ 中国：旺盛な需要を背景に、販売量の増加が寄与し増収増益

◆ 為替変動の影響は軽微

平均レート  
米\$ 90.74→91.73  
メキシコペソ 6.95→7.12  
人民元 13.19→13.34



6

## アルミニウム部門および完成品部門

(単位: 百万円)

		2010年3月期 第1四半期	2010年3月期 第4四半期	2011年3月期 第1四半期
アルミニウム部門	売上高	440	838	946
	営業利益	△ 81	3	8
完成品部門	売上高	270	445	358
	営業利益	△ 45	4	△ 12

### 今後の見通し

- ◆アルミニウム部門: 本業に付随して引き続き堅調な推移を予想
- ◆完成品部門: 中国で急速に拡大する、FPD・半導体生産工場向けの二重床の拡販を推進

#### 【用語説明】

- ・アルミニウム部門とは、市場で発生するアルミニウムくずのリサイクルを行う事業。合金地金の生産のみならず、ダイカスト事業の集中購買を当事業部で実施
- ・完成品とは、半導体生産工場のクリーンルームやデータセンターなどに用いるアルミダイカスト製床板の製造・施工・販売の事業



7

## 貸借対照表

(単位: 百万円, 数値右は回転月数)

	2010年3月期 第1四半期		2010年3月期 第4四半期		2011年3月期 第1四半期	
流動資産	29,471	6.0	34,472	4.5	37,038	4.7
現預金	6,696	1.4	5,267	0.7	5,765	0.7
売上債権	13,922	2.8	20,246	2.6	21,362	2.7
棚卸資産	6,558	1.3	6,877	0.9	7,712	1.0
固定資産	55,110	11.2	53,505	7.0	52,954	6.7
有形固定資産	48,440	9.9	46,228	6.0	46,523	5.9
資産合計	84,581	17.3	87,977	11.5	89,991	11.4
負債	50,323	10.3	52,728	6.9	54,466	6.9
買入債務	9,515	1.9	15,059	2.0	16,726	2.1
長短借入金	26,145	5.3	24,411	3.2	23,073	2.9
純資産合計	34,257	7.0	35,249	4.6	35,524	4.5
1株あたり純資産(円)	1,587.67		1,633.33		1,646.13	
(参考)						
設備投資額	3,020	0.6	2,216	0.3	2,190	0.3
内金型以外	2,123	0.4	1,444	0.2	1,209	0.2
金型	897	0.2	773	0.1	981	0.1

- ◆ 売上高増加に伴い売上債権、棚卸資産、買入債務が増加

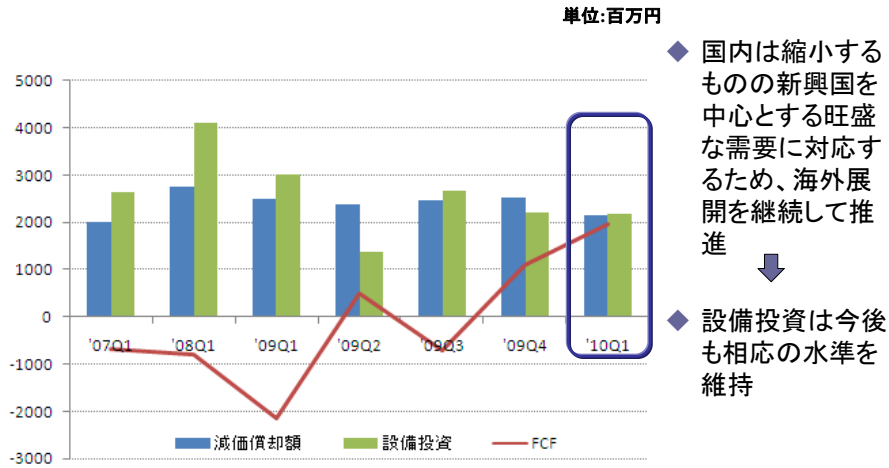
- ◆ 設備投資は、前期第4四半期と同程度実施し、有形固定資産は微増するも、投資有価証券評価額の下落等により固定資産は減少

- ◆ 営業C/Fの改善に伴い長短借入金が減少



8

## キャッシュフローの動向



## 配当の状況

(単位:円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期 (計画)
1株当たり配当金 (年間)	18	23	23	11	5	12
中間配当	-	9	9	11	-	6
期末配当	18	14	14	-	5	6
1株当たり純損益	105.2	304.2	139.2	△150.6	△58.8	116.1
配当性向(連結)	17.1%	7.6%	16.5%	-	-	10.3%

- ◆ 配当性向には配慮しつつも、今後の成長を勘案した経営資源の配分を推進

## II. 今後の見通し

### 中期経営計画について

---

2013年3月期時点目標	
連結売上高	1,000億円
売上高営業利益率	4%
株主資本当期純利益率(ROE)	8%
総資産純利益率(ROA)	3%

- ◆ 今後の業界動向を注視しながら2016年3月期の目標を検討中

## 海外を強化、国内は再編

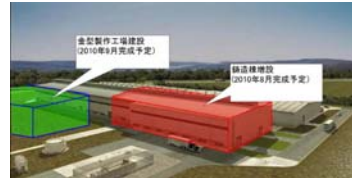
### ◆ メキシコの増強

所在地 メキシコ サカテカス州グアダルペ市

アーレスティメヒカーナの増築 2010年8月

金型工場新設 2010年9月

投資額約 US\$4,000,000-(生産設備は含まず)



### ◆ 中国に2拠点目のダイカスト生産設備を開設

所在地 中華人民共和国安徽省合肥市経済技術開発区

設立年月 2010年8月

販売計画 23億円(2012年度見込み)

投資額 20億円(2012年度までの計画値)

### ◆ 国内生産設備の生産効率の向上

浜松工場と豊橋工場を統合し東海工場(仮称)として集約・再編

概略日程 2013年3月を目処に再編

工場増改築等の再編費用は、浜松工場跡地の売却益を充당予定

従業員の雇用はグループで維持



13

## 2011年3月期事業別業績予想および進捗率

	(単位: 百万円)			
	2011年3月期 第1四半期実績	2011年3月期 第2四半期累計 (計画)	2011年3月期 通期 (計画)	対通期計画 進捗率
売上高	23,699	46,000	90,500	26%
ダイカスト	22,395	43,500	84,400	27%
アルミニウム	946	1,700	3,700	26%
完成品	358	800	2,400	15%
営業利益	963	1,900	3,200	30%
ダイカスト	981	1,900	2,950	33%
アルミニウム	8	50	200	4%
完成品	△ 12	△ 50	50	-
消去または全社	△ 14	0	0	-

◆ 主力のダイカスト事業が好調だったことにより、計画値に対する第1四半期の進捗は顕著

◆ しかしながら回復のペースは鈍化しており、下期の不透明感が高いために、通期の予想に変更なし



14

## 地域別ダイカスト業績予想および進捗率

(単位: 百万円)

	2011年3月期 第1四半期実績	2011年3月期 第2四半期累計 (計画)	2011年3月期 通期 (計画)	対通期計画 進捗率
売上	22,395	43,500	84,400	27%
国内	16,446	31,200	59,100	28%
北米	3,616	7,000	14,200	25%
その他	2,331	5,300	11,100	21%
営業利益	981	1,900	2,950	33%
国内	496	1,200	1,450	34%
北米	301	400	800	38%
その他	173	300	700	25%
連結調整	11	0	0	-

- ◆ 国内、北米地域で売上・利益ともに計画に対して好調な滑り出しとなったが、ともに下期には回復ペースは減速するものと予想



15

Casting Our Eyes  
on the Future

## 株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】  
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課  
TEL 03-5332-6004

E-mail: [ahresty\\_MP0\\_IR@ahresty.co.jp](mailto:ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp)

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。



16